

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	CTA 大口径望遠鏡アレイによる極限宇宙の研究
研究代表者	手嶋 政廣 (東京大学・宇宙線研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、現在スペインに建設中の、TeV エネルギー領域をカバーする、世界で唯一の宇宙ガンマ線望遠鏡（CTA）の大口径望遠鏡（LST）を用いて初期成果を出すことを目的としたものである。パルサーの観測によるこれまで未解決の宇宙線の起源の解明、ガンマ線バーストや活動銀河核の観測、矮小楕円銀河の観測によるダークマターの探索等、多彩な研究が展開できる。多くの成果が期待され、学術的意義は高い。国際的に重要な大型プロジェクトであり、応募者がLSTの代表者を務め、日本が先導的役割をしている。</p> <p>我が国の国際的な存在感を高めるためにも推進すべき研究であり、基盤研究（S）による採択が適当と判断した。</p>